

平成 2 9 年度事業報告

第 1 節 評議員会及び理事会の開催並びに組織の概況

第 1 評議員会及び理事会の開催状況

一般財団法人大阪府公園協会定款第 7 条、第 8 条、第 10 条、第 14 条、第 16 条、第 25 条及び第 39 条に規定する事項に関し、次のとおり評議員会及び理事会を開催した。

(1) 評議員会

開 催 年 月 日	承 認 事 項
第 7 回 評議員会 平成 29 年 6 月 26 日	・平成 28 年度計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））の承認に関する件 ・定款の変更に関する件 ・評議員の選任に関する件

(2) 理事会

開 催 年 月 日	議 決 事 項
第 14 回 理事会 平成 29 年 5 月 29 日	・平成 28 年度事業報告及び決算報告に関する件 ・一般財団法人大阪府公園協会 常勤理事の報酬に関する件 ・平成 29 年度第 7 回評議員会の招集に関する件
第 15 回 理事会 平成 29 年 10 月 30 日	・大阪府立万国博覧会記念公園の指定管理者の応募に伴う出資金の拠出に関する件
第 16 回 理事会 平成 30 年 3 月 27 日	・平成 29 年度収支予算の補正に関する件 ・平成 30 年度事業計画及び収支予算に関する件 ・一般財団法人大阪府公園協会諸規程の一部改正に関する件

第 2 評 議 員 及 び 役 員 の 選 任 等

平成 29 年度において、次のとおり評議員の選任等があった。

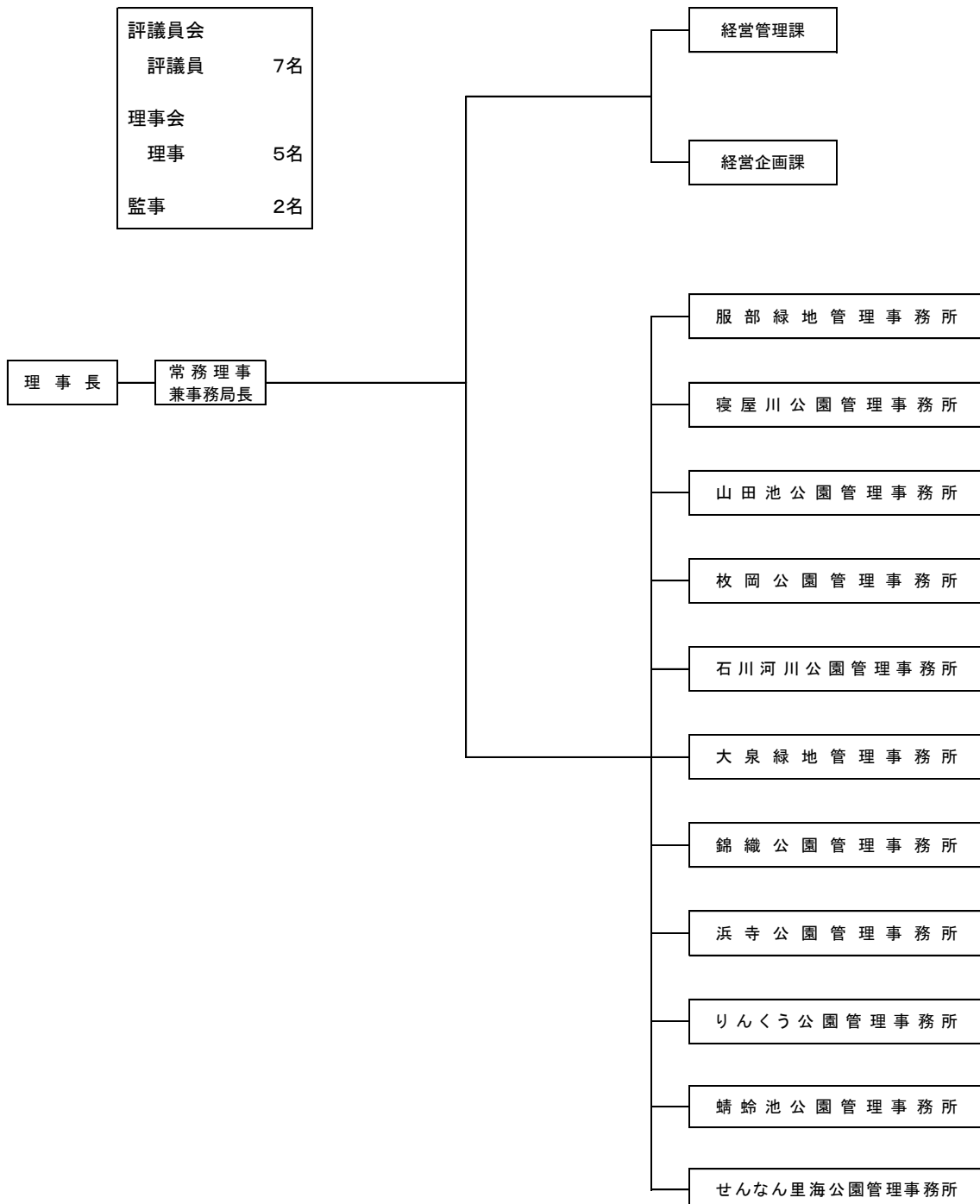
年 月 日	区分	役職名	氏 名	備 考
平成 29 年 6 月 9 日	退任	評議員	松 本 康 男	
平成 29 年 6 月 26 日	選任	〃	梶原祐理子	平成 28 年 6 月 29 日から 選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち 最終のものに関する定時評議委員会の終結 の時まで(但し、前任の任期を引継ぐ)
平成 30 年 3 月 31 日	退任	〃	亀 井 正 明	
〃	〃	〃	堤 成 光	

第 3 組 織 の 概 要

平成 30 年 3 月末日における職員嘱託数は、職員 40 名、嘱託 48 名で総数 88 名である。
組織及び現員は、以下のとおりである。

(1) 組 織 図

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



(2) 現 員 表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

部 課 名 \ 職 名	役 員	職 員	嘱 託	合 計	J V職員
理 事 長	1	—	—	1	—
常務理事兼事務局長	1	—	—	1	—
経 営 管 理 課	—	5	—	5	—
経 営 企 画 課	—	3	—	3	—
服部緑地管理事務所	—	8	6	14	5
寝屋川公園管理事務所	—	2	4	6	2
山田池公園管理事務所	—	2	4	6	1
枚岡公園管理事務所	—	2	2	4	1
石川河川公園管理事務所	—	2	4	6	1
大泉緑地管理事務所	—	4	7	11	3
錦織公園管理事務所	—	1	2	3	3
浜寺公園管理事務所	—	5	8	13	6
りんくう公園管理事務所	—	2	4	6	—
蜻蛉池公園管理事務所	—	2	5	7	—
せんなん里海公園管理事務所	—	2	2	4	—
計	2	40	48	90	22

第 2 節 事務事業の執行状況

第 1 公益事業

1. 公園からの健康づくり推進事業

ウォーキングやジョギングといった健康志向の公園利用の増加、並びに社会保障関係費の削減を睨んだ「健康づくり」に対する関心と要請の高まりを受け、公園を活用した府民の健康づくりに貢献することを目指し、健康活動を支援するプログラムの実施に取り組んだ。

(1) 運動を始めるきっかけ・動機付けとなるプログラム

- ・「ヘルシージョイフェス with フィンランド」

フィンランド建国 100 周年にあたる 2017 年、フィンランド生まれのモルックという軽負荷運動も加え、ヘルシージョイフェスを開催。

服部緑地、 5 月 20 日（土）、参加者 1,330 名

- ・「歩く人 in 寝屋川公園」開催

大阪産業大学 佐藤真治教授が提唱する軽負荷運動「歩く人」を体験できるイベントを開催。

寝屋川公園、 6 月 11 日（日）、9 月 24 日（日）、
11 月 23 日（日） 参加者計 64 名



木片をたおして遊ぶボーズ：モルック
（ヘルシージョイフェス with フィンランド）



正しい姿勢を意識して歩く
（歩く人 in 寝屋川公園）

(2) 継続・習慣化のための支援

- ・「ヘルシージョイクラブ山田池公園」の実施

山田池公園、参加者 1,196 名

- ・スロージョギング教室の開催

寝屋川公園、毎月第 3 水曜日、参加者計 81 名



日替わりで様々な運動を実施
-自然の楽園フラダンス-
（ヘルシージョイクラブ）

(3) 情報発信の充実

- ・スポーツフェスタ泉佐野へ出展

10 月 9 日（月・祝） 参加者数 約 2,500 名

「スポーツフェスタ泉佐野」（スポーツフェスタ泉佐野実行委員会主催）にて、軽負荷運動のスロージョギングを中心とした健康づくり情報を発信。

- ・寝屋川公園フェスティバルへ健康相談窓口等設置

11 月 3 日（日） 参加者数 約 1,500 名

大阪病院にご協力いただき「健康相談」「ロコモ度測定」など健康情報を発信。



軽負荷運動をわかりやすく説明
（スポーツフェスタ泉佐野）

(4) 広域的な公園間連携

淀川河川公園の管理者（淀川河川公園管理グループ共同体）、大阪市営公園の管理者（一般財団法人大阪スポーツみどり財団）との連携・協働体制のもと、健康活動支援プログラムの相互協力、共同広報などを実施した。

2. 大阪府営公園デジタルアーカイブス事業

大阪府営公園の計画や整備、利用等に関するこれまでの歴史が伺える貴重な資料や写真を、当協会が運営するウェブサイト「大阪府営デジタルアーカイブス」にて、引き続き府民へ広く公開した。

公開写真に対し、「マンションパンフレットに使用したい」、「社内報に掲載したい」等の問い合わせも増えており、本年度は、2件の使用を許諾した。

また、様々な媒体を通じて多くの方の目に触れることにより、新たなファンの獲得や府営公園の歴史を知っていただくきっかけとなった。

3. 公園施設利用促進事業

(1) 遊具事故ゼロ計画推進事業

府営公園における遊具事故をなくし、子どもたちがリスクにチャレンジしながら安全で豊かな遊びを体験できるよう、遊具の安全な遊び方に関するリーフレットの配布やホームページへの掲載を行った。

さらに、遊具の精密点検に携わる公園施設製品安全管理士を講師に招き、服部緑地の遊具を題材にして、「遊具の日常点検のポイント」をテーマに遊具安全管理講習会を開催し（3月16日）、府内市町村公園管理者、当協会職員及び指定管理グループ従業員など27名の参加があった。

(2) その他調査・研究・普及啓発事業

公園の新たな利用の開拓に向け、公園や屋外でのウェディングに取り組んでいる「たらくさ株式会社」、映画上映に取り組んでいる「合同会社パッチワークス」に協力を仰ぎ、大阪府営公園でのウェディング実施や映画上映の可能性と課題について調査を進めた。

第 2 公 園 管 理 事 業

地方自治法第 244 条の 2 第 3 項及び大阪府都市公園条例第 16 条並びに地方自治法施行令第 158 条第 1 項の規定による公園施設の利用及び維持管理並びに使用料の徴収事務等を指定管理者として、大阪府より受託し、地方自治法第 244 条の 2 第 8 項及び大阪府都市公園条例第 23 条の規定に基づく利用料金施設の運営並びに公園管理に付随する事業を実施した。

1 運営・維持管理業務事業

平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日までの指定期間の 1 年目及び平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの指定期間の 5 年目において、次の 11 公園に係る運営・維持管理業務を行った。

【指定期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日までの 1 年目】

- ・ 枚岡公園
- ・ 錦織公園
- ・ 浜寺公園

【指定期間：平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 5 年目】

- ・ 服部緑地
- ・ 寝屋川公園
- ・ 山田池公園
- ・ 石川河川公園
- ・ 大泉緑地
- ・ りんくう公園
- ・ 蜻蛉池公園
- ・ せんなん里海公園

業 務 内 容
【運営管理業務】 企画調整、利用指導、案内、警備、苦情対応、府民協働、自然環境保全、 利用促進活動、他
【維持管理業務】 清掃、除草、樹木剪定、芝生維持管理、花壇管理、施設保守点検、 設備等法定点検補修・修繕、安全衛生管理、他

2 行為の許可等及びこれに係る使用料徴収事業

次の 11 公園に係る大阪府都市公園条例第 4 条第 1 項に掲げる行為の許可及びこれに係る使用料の徴収事務を行った。

行為許可等使用料徴収状況

公 園 名	区 分	許可件数 (件)	使用料徴収額 (円)
服 部 緑 地	行 為 許 可	274	885,600
	写 真 撮 影	94	159,800
	仮 設 工 作 物	14	22,176
寝 屋 川 公 園	行 為 許 可	22	68,400
	写 真 撮 影	2	3,400
	仮 設 工 作 物	4	72,093
山 田 池 公 園	行 為 許 可	21	66,600
	写 真 撮 影	11	37,400
	仮 設 工 作 物	6	16,310
枚 岡 公 園	行 為 許 可	2	5,400
	写 真 撮 影	1	1,700
	仮 設 工 作 物	1	9,787
石 川 河 川 公 園	行 為 許 可	73	271,800
	写 真 撮 影	0	0
	仮 設 工 作 物	1	1,087
大 泉 緑 地	行 為 許 可	340	1,085,400
	写 真 撮 影	38	64,600
	仮 設 工 作 物	34	74,280
錦 織 公 園	行 為 許 可	5	16,200
	写 真 撮 影	3	5,100
	仮 設 工 作 物	2	11,562
浜 寺 公 園	行 為 許 可	100	237,600
	写 真 撮 影	5	8,500
	仮 設 工 作 物	104	776,809
りんくう公園	行 為 許 可	93	327,600
	写 真 撮 影	381	647,700
	仮 設 工 作 物	22	147,335
蜻 蛉 池 公 園	行 為 許 可	9	19,800
	写 真 撮 影	17	28,900
	仮 設 工 作 物	16	65,865
せんなん里海公園	行 為 許 可	32	21,600
	写 真 撮 影	5	8,500
	仮 設 工 作 物	21	10,487
計		1,753	5,179,391

3 利用料金施設運営事業

地方自治法第 244 条の 2 第 8 項及び大阪府都市公園条例第 23 条の規定に基づき、次の施設の運営を行った。

(1) 駐車場の運営事業

次の駐車場の運営業務を実施した。

(せんなん里海公園においては、自主事業として、駐車場運営を行った。)

① 駐車場利用実績

公園名	箇所数 (収容台数)	駐車台数 (台)			金 額 (円)
		大型車	普通車	計	
服 部 緑 地	6 (2,046)	538	259,070	259,608	151,177,270
寝 屋 川 公 園	3 (391)	340	66,768	67,108	38,980,820
山 田 池 公 園	3 (573)	193	86,555	86,748	46,734,200
石川河川公園	1 (50)	9	12,777	12,786	7,124,980
大 泉 緑 地	4 (1,863)	448	175,942	176,390	111,205,930
錦 織 公 園	2 (520)	104	33,979	34,083	20,111,480
浜 寺 公 園	6 (942)	473	145,724	146,197	85,373,610
りんくう公園	2 (132)	555	54,199	54,754	22,903,120
蜻 蛉 池 公 園	6 (1,628)	437	98,235	98,672	57,173,310
せんなん里海公園	4 (1,069)	172	31,070	31,242	18,386,400
合 計	37 (9,214)	3,269	964,319	967,588	559,171,120 (553,016,370)

※金額欄の括弧内数字は昨年度実績を表わす。以下、同様。

(2) 運動施設等の運営事業

次の運動施設等における運営業務を実施した。

① プール運営利用状況

平成 29 年度は、節電クーポン付きの回数券の販売を行った。

公園名	区 分	利用者数 (人)	金 額 (円)
服 部 緑 地	大 人	54,737	56,504,980
	小 人	55,655	28,375,500
	計	110,392	84,880,480
浜 寺 公 園	大 人	43,228	40,021,920
	中 学 生	6,725	3,418,710
	小 人	41,694	12,783,930
	専用使用	17,014	1,462,605
	計	108,661	57,687,165
合 計		219,053	142,567,645 (150,017,185)

② 陸上競技場運営利用状況

公園名	区 分	利用件数 (件)	金 額 (円)
服 部 緑 地	本 競 技 場	4,370	4,340,425
	更衣室（陸上競技場内）	43	702,090
	会議室（陸上競技場内）	5	566,215
寝 屋 川 公 園	本 競 技 場	221	1,788,140
合 計		4,639	7,396,870 (8,005,135)

※服部緑地は、施設改修工事のため、12～3月まで閉鎖。

③ オーパスシステム対象施設運営利用状況

公園名	区 分	利用件数 (件)	金 額 (円)
服 部 緑 地	人 工 芝 サ ッ カ ー 場	943	13,812,580
	軟 式 野 球 場	466	3,503,940
	ス ポ ー ツ 広 場	378	2,742,440
	テ ニ ス コ ー ト	10,861	26,384,090
	計	12,648	46,443,050
寝 屋 川 公 園	野 球 場	655	8,292,880
	ソ フ ト ボ ー ル 広 場	341	1,500,380
	テ ニ ス コ ー ト	6,898	21,568,500
	計	7,894	31,361,760
大 泉 緑 地	野 球 場	364	2,714,910
	球 技 広 場	156	1,927,640
	ス ポ ー ツ 広 場	189	882,130
	テ ニ ス コ ー ト	6,597	16,011,040
	計	7,306	21,535,720
浜 寺 公 園	軟 式 野 球 場	410	3,536,240
	ソ フ ト ボ ー ル 広 場	136	789,530
	球 技 広 場	392	3,969,160
	テ ニ ス コ ー ト	9,290	21,109,580
	計	10,228	29,404,510
蜻 蛉 池 公 園	球 技 広 場	113	1,209,620
	テ ニ ス コ ー ト	2,073	10,776,510
	計	2,186	11,986,130
合 計		40,262	140,731,170 (145,748,030)

④ スポーツハウス運営利用状況

公園名	区 分	利用件数 (件)	金 額 (円)
服 部 緑 地	シャワー及び 更 衣 室	1,176	117,600
寝 屋 川 公 園		253	25,300
大 泉 緑 地		1,099	109,900
蜻 蛉 池 公 園		238	23,800
合 計		2,766	276,600 (329,000)

⑤ バーベキュー施設運営利用状況

公園名	区 分	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	金 額 (円)
服 部 緑 地	屋 内 卓	2,103	8,136	8,380,080
	野 外 卓	1,429	5,688	4,095,360
	計	3,532	13,824	12,475,440
大 泉 緑 地	野 外 炉	437	2,111	1,844,945
合 計		3,969	15,935	14,320,385 (15,208,410)

⑥ 服部緑地野外音楽堂運営利用状況

区 分	利用件数 (件)	使用料徴収額 (円)
全 部 使 用	99	4,708,128
一部使用（リハーサル室）	386	605,930
付 帯 設 備	2,037	288,190
合 計	2,522	5,602,248 (5,118,680)

※ 平成 29 年度使用前受金収入額 ￥2,387,380 円

⑦ 服部緑地都市緑化植物園運営利用状況

区 分	利用件数 (件)	利用者数 (人)	使用料徴収額 (円)
個 人	20,050	20,902	3,731,175
団 体	45	870	103,180
年間パスポート	14,015	14,015	1,189,650
合 計	34,110	35,787	5,024,005 (4,869,265)

⑧ 石川河川公園パークゴルフ場運営利用状況

区 分	利用件数 (件)	使用料徴収額 (円)
パ ー ク ゴ ル フ	11,663	3,090,450
レ ン タ ル ク ラ ブ	1,755	300,720
合 計	13,418	3,391,170 (4,648,410)

※台風 21 号の豪雨により公園敷地内が増水し、流木、泥土等の復旧作業のため、
11～12 月まで閉鎖。

⑨ 浜寺公園アーチェリー練習場運営利用状況

区 分	利用者数 (人)	金 額 (円)
アーチェリー練習場	3,929	1,473,660 (1,576,460)

⑩ 浜寺公園遊戯施設運営利用状況

区 分			利 用 者 数 (人)	金 額 (円)
子 供 汽 車	個 人	大 人	40,606	12,172,500
		小 人	20,514	2,854,530
		計	61,120	15,027,030
	団 体	大 人	1,291	179,445
		小 人	7,044	381,550
		計	8,335	560,995
	計	大 人	41,897	12,351,945
		小 人	27,558	3,236,080
		計	69,455	15,588,025
ゴーカート			87,792	26,004,150
合 計			157,247	41,592,175 (40,602,625)

(参考) 浜寺公園交通遊園交通指導状況

平成 29 年度の開園日数は 307 日(休園日・火曜日)、入園者数(概数)は、196,439 人であった。

区分	府民交通教室	保育所	幼稚園	小学校	支援学校	子供会	その他	合計
団体数 (件)	121	2	7	11	0	1	6	148
人数 (人)	2,204	54	393	737	0	23	274	3,685

⑪ せんなん里海公園ビーチバレー競技場運営利用状況

区 分	利用件数 (件)	金 額 (円)
コ ー ト	886	548,390
コ ー ト 附 帯 設 備	116	9,720
シャワー及び更衣室	485	199,390
トレーニングルーム	121	22,890
多 目 的 ル ー ム	745	293,360
会 議 室	248	64,065
合 計	2,601	1,137,815 (1,221,650)

4 公園管理に付随する自主事業

府営公園の利用者に対するサービス提供の一環として、次のとおり協会の自主事業を行った。

(1) 売店経営事業

平成 29 年度は、次の 8 公園 20 施設において、売店の管理運営を行った。

公 園 名	施 設 名	金 額 (円)	備 考
服 部 緑 地	西 中 央 広 場 売 店	2,970,000	
	レ ス ト ハ ウ ス 売 店	2,600,000	
	事 務 所 内 売 店	4,224,480	直営
	バーベキュー広場売店	7,729,941	
	ウォーターランド売店	8,565,000	夏季
山 田 池 公 園	水 辺 広 場 前 臨 時 売 店	500,000	
	パークセンター内売店	554,200	直営
石 川 河 川 公 園	パークゴルフ場売店	73,800	直営
大 泉 緑 地	金岡児童遊戯場附属売店	150,000	
	冒 険 ラ ン ド 売 店	100,000	
錦 織 公 園	やんちゃの里売店	1,133,425	
浜 寺 公 園	レ ス ト ハ ウ ス 売 店	669,000	
	交 通 遊 園 売 店	720,000	
	中央花壇前臨時売店	—	
	北児童遊戯場臨時売店	411,000	
	プ ー ル 売 店	1,897,387	夏季
り ん く う 公 園	無料休憩所附属売店	30,000	
蜻 蛉 池 公 園	スポーツハウス附属売店	480,000	
	子 供 の 国 臨 時 売 店	1,000,000	
	憩いの広場休憩所附属売店	631,202	
合 計		34,439,435 (34,286,273)	

(2) 食堂経営事業

平成 29 年度は、次の 4 公園 6 施設において、食堂の管理運営を行った。

公 園 名	施 設 名	金 額 (円)	備 考
服 部 緑 地	ウォーターランドレストラン	3,240,000	
大 泉 緑 地	中 央 休 憩 所 附 属 食 堂	104,234	
	ス ポ ー ツ ハ ウ ス 附 属 食 堂	2,466,742	直営
浜 寺 公 園	レ ス ト ハ ウ ス 附 属 食 堂	2,057,000	
	プ ー ル 附 属 食 堂	2,057,000	夏季
せんなん里海公園	ビーチバレー競技場附属食堂	250,000	
合 計		10,174,976 (10,362,070)	

(3) コインロッカー運営事業

府営公園プールなど、施設利用の利便を図るため、次のとおりコインロッカーを設置し、運営を行った。

公園名	施 設 名	金 額 (円)
服 部 緑 地	ウォーターランド更衣室	4,792,300
	テニスセンター管理棟更衣室	21,400
寝 屋 川 公 園	管 理 事 務 所 更 衣 室	1,800
山 田 池 公 園	パ ー ク セ ン タ ー 更 衣 室	20,100
大 泉 緑 地	ス ポ ー ツ ハ ウ ス 更 衣 室	66,700
浜 寺 公 園	プ ー ル 更 衣 室	3,947,200
	北テニス管理棟更衣室	40,500
せんなん里海公園	ビーチバレー競技場更衣室	38,800
合 計		8,928,800 (11,986,300)

(4) 花とみどりフェア運営事業

花とみどりの啓発普及、緑化運動の一環として、服部緑地、大泉緑地及び浜寺公園において、「花とみどりフェア」を開催し、草花や植木等の展示即売、緑化相談コーナーの開設、チップ堆肥等の無料配布を行った。

なお、開催状況は次のとおりである。

	第 93 回・春			第 94 回・秋			第 95 回・春		
	期 間	出店数	負担金 収入額 (円)	期 間	出店数	負担金 収入額 (円)	期 間	出店数	負担金 収入額 (円)
服部緑地	29. 4. 1 ～ 29. 5. 14	2	130,000	29. 10. 1 ～ 29. 11. 5	2	65,000	30. 3. 25 ～ 30. 3. 31	2	35,000
大泉緑地	29. 4. 1 ～ 29. 5. 7	8	368,000	29. 9. 30 ～ 29. 10. 22	6	318,000	30. 3. 17 ～ 30. 3. 31	6	225,000
浜寺公園	29. 4. 1 ～ 29. 5. 28	2	155,000	29. 9. 23 ～ 29. 10. 22	2	120,000	30. 3. 24 ～ 30. 3. 31	2	40,000

(注) 第 93 回～第 95 回の負担金収入額は平成 29 年度分を示す。

(5) 提案・実践事業

① 服部緑地における「パークライフ」提案事業

より豊かな「パークライフ」を提案するため、服部緑地のみどりと景観の質を向上させる「服部緑地みどり魅力化プロジェクト」に取り組み、服部緑地のシンボルでもある円形花壇の改修を実施した。

また、健康づくりや子育て支援などに取り組み、みどりの中で実施するヨガやフラダンスなどのイベントを多数開催した。

② 枚岡公園における新たな魅力発掘・創出事業

地域連携の大きな舞台の一つであった枚岡梅林の梅の木の皆伐を受け、梅林再整備までの期間をより地域のつながりを強める期間として活用するため、地域住民やボランティアと協働で、菜の花やレンゲソウのほかハナニラなどの草花を植栽した。

さらに、地域との連携プログラムの一環として、瓢箪山音楽祭に落ち葉プールなどを出店した。

③ 大泉緑地における「百年の森づくり」推進事業

大泉緑地「百年の森づくり」事業を進める中で、近年課題となっているナラ枯れ対策に積極的に取り組んだ。また、「百年の森づくり」への取り組みの周知並びに環境に対する意識啓発のため、森を楽しむ学べることが出来るイベント「ツリークライミング in 大泉緑地（参加者 27 名）」を開催した。

④ 浜寺公園における「悠久の松林づくり」推進事業

人々に愛され続ける松林を守り、未来へと引き継ぐため、松の健全育成に取り組んだ。

公園利用者や地域住民の松林の愛着をより向上させるため、林床花壇（松風の小径）の整備に取り組んだ。

⑤ 蜻蛉池公園における品質向上マネジメント事業

蜻蛉池公園 P&M グループ構成メンバーで共同し、来園者の声や従業員の意見を集約し、水と緑に包まれた豊かな自然と環境資源を活かしたよりよい公園づくりの提案につなげた。

なかでも、蜻蛉池公園にかかわるすべての方が「蜻蛉池ファミリア」であるとの考え方に賛同をいただき、地域ネットワークによる新たなイベントを誘致することができた。

⑥ せんなん里海公園における生物多様性の保全・創出事業

多様な生物に出会い、環境について学ぶ拠点となるさとうみ磯浜・しおさい楽習館が整備されたことから、今後の利活用に向けて、利用状況並びに利用要望の情報収集に努めた。

オープニングイベントに合わせ、流木の重さあてクイズを実施するなど、楽しみながら環境について学ぶプログラムを実施した。

⑦ 花壇管理講習会実施事業

当協会発行の「まちの緑化テキストブック」を活用し、花壇管理講習会を4回実施した。

大阪府の花いっぱいプロジェクトに協力し、小学校、中学校の児童、生徒を対象に、移植作業、水やりなど花壇管理方法の講習会を16回実施した。

⑧ 公園利用実態調査事業

公園の管理運営のあり方を探ることを目的として、来園者へのアンケート調査及びホームページを通じたアンケート調査を実施し、利用者の傾向、満足度及びニーズの把握に努めた。

(6) その他運営事業

① 浜寺公園プール及び交通遊園の利用促進を図るため、次の運営を行った。

公 園 名	施 設 名	利用者数 (人)	金 額 (円)	備 考
浜 寺 公 園	ジャイアントスライダー	73,100	7,310,000 (7,425,100)	延長 100m 2 レーン
	遊 戯 施 設	25,093	2,509,300	子供用電池自動車
		9,413	941,300	定置式子供用乗物
	遊 戯 施 設 計	34,506	3,450,600 (3,431,900)	

② テニススクール事業

健全な心と体の育成を図るとともに、テニス利用の拡大を図るため、服部緑地、寝屋川公園において、テニススクール事業を実施した。

5. 経営基盤強化事業

(1) 地域活動推進事業

公園の利活用を通じて利用者をはじめ府民に豊かな暮らしを実感してもらえるよう、公園を拠点とした地域活動の推進と公園間の連携・協働のネットワークの強化に努めた。

① 地域連携協働事業

公園の特色を生かしながら公園と地域が協働したイベント等の企画運営に取り組んだ。

■服部緑地

服部緑地周辺の企業や団体の協力を得て「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」を年4回開催。そのネットワークと団結力を活かし、北大阪急行車両において、車内吊り、デジタルサイネージを活用した服部緑地都市緑化植物園の紹介を実施するほか、FM千里では都市緑化植物園長が出演するなど宣伝効果の高い取り組みにつなげた。

春には「服部緑地5月祭」として、母の日イベント「しょくぶつえんのママフェスタ」(5月14日、774名)、北摂地域の飲食店によるグルメイベント「シェフの屋台&ハワイアンフェア」(5月28日、1,833名)、大学生の実行委員会主催の「GREEN×LOHAS FESTA」

(6月4日、3,500名)などを開催。秋には「服部緑地10月祭」として、ボランティア団体によるワークショップイベント「はっとり緑地ふれあい祭」(10月7日、1,809名)、「しょくぶつえんのフラワーフェスタ」(10月15日、218名)など、「5月祭」、「10月祭」総勢で14イベントを地域とともに開催した。

このほかにも、体と心の健康につながるリラク্সプログラムや、健全な地域社会につながる子育てママの交流支援プログラムを実施するなど、地域住民の日常生活に関連した身近なテーマを中心に、年間を通じて200回を超えるイベント等を実施又は協力した。



しょくぶつえんのママフェスタ

■寝屋川公園

「寝屋川公園地域連絡協議会」を年4回開催し、参加団体が実施する各種イベントを「寝屋川公園だより」で紹介するなど地域連携の強化を図った。

毎年恒例となった秋のイベント「寝屋川公園フェスティバル」(11月3日、1,500名)では、公園内外で活動するボランティア団体に加え、地域連携協議会参加団体によるブース出展が増えるなど公園の利用活性化につながった。

また、大阪産業大学が実施する自然と地域と人のつながりを活用した教育プログラム「公園・地域・人ALプロジェクト」に協力するなど、新たな地域連携の開拓を図った。



寝屋川公園フェスティバル

■山田池公園

地域住民の日常的な公園利用の促進と心身の健康づくりに寄与するため、「ヘルシージョイクラブ山田池公園」を展開し、フラダンスや整体エクササイズ、太極拳をはじめとする多彩なプログラムを実施した。

「花しょうぶ園」では、ヒーリングガーデナークラブと協働して、高齢の方が安全に安心して鑑賞できるようガイドサービスを提供したほか、見頃に合わせ「夜間ライトアップ」（6月3日～6月11日、36,405名）を実施した。

ゆうゆう自然クラブと協働で、年間を通じた自然工作イベントを開催した。

「実りの里」では、新玉ねぎやジャガイモの収穫体験など、農作業体験イベントを実施した。



花しょうぶ園ライトアップ



実りの里農業体験

■枚岡公園

枚岡公園地域連携協議会（5月24日、10月6日）での意見交換を経て、枚岡地域をより深く知ることをテーマにした「ひら vol.4」を制作・発行した。

地域との連携並びに公園利用活性の一環として、瓢箪山音楽祭（11月12日）、枚岡神社お笑い神事（12月23日）に参加し、「ひら vol.4」も活用しながら、PR活動を行った。

■石川河川公園

地域の歴史・文化的遺産等の観光資源をつなぎ、地域の活性化へ寄与することを目的とした「地域とつながり・成長する」協議会を開催、地域イベントを一体的にPRする「石川ぐるっとかわらばん」を発行した。

公園の利用活性化を図る舞台づくりとして、ボランティア団体と協働して、自然環境再生に支障となる雑草の除去、カヤネズミの営巣に必要なオギ群落や減少の著しいミゾコウジュの保護を実施したほか、利用活性プログラムとして、「木登り体験会」（11月10日、15名）を実施した。

さらに、石川流域に生息する水生生物の展示、「お父さんと一緒に魚取り」（6月25日、22名）などのイベントを実施した。

■大泉緑地

地元住民で組織された「NPO法人 HOPE 大泉」との協働により、緑道の草地管理や樹木管理を実施した。

野良猫の繁殖による公園及び周辺地域の環境悪化を防止するため、「公益財団法人どうぶつ基金」、周辺自治会、動物愛護団体、ボランティア団体と連携し、「TNR事業（野良猫の不妊、去勢手術）」を継続実施した。



TNR事業

花と緑の相談所では、植物や生物等を題材とした展示会、四季に応じた講習会の定期開催に加え、緑道花壇へ季節の草花の植付けを行った」（全4回）。

園芸と福祉をつなぐリーダーとなるボランティアを育成する「癒しの園芸講座」（全12回）を開催した。



緑道花壇への草花植付け

■錦織公園

公園の利用促進と地域交流を目指し、公園で活動するボランティア団体や地域の大学・企業等と協働し「愛パークフェスタ」（5月14日、400名）を開催。クラフトや大綱引きなどの運動イベント、ジャグリングや手品などに加え、オリジナルグッズの販売を行った。

乳幼児とのお母さん達の利用を促すため、子どもたちを安心して遊ばせることができる空間として、パークセンター内にキッズコーナーを開設した。



愛パークフェスタ

■浜寺公園

浜寺公園振興協議会が主催する「浜寺ローズカーニバル」（5月21日、50,000名）に積極的に協力し、地域活性の一役を担った。

浜寺公園内又は近接するユースホステルや漕艇センターなどの施設管理者が集まり、地域活性に取り組む「浜寺公園関係施設者会議」を年4回開催し、相互の広報協力を行うほか、秋のイベント「オートムフェスタ」（11月5日、2,500名）に出展いただいた。

ばら庭園の利用促進を目的として、ばら庭園の夜間ライトアップ（5月14日～5月28日、6,411名）を行ったほか、「たそがれコンサート」を計4回開催した。

その他、ボランティア団体「浜寺公園自然の会」と協働で、子どもたちを対象とした自然観察イベントは年間を通して開催した。



浜寺ローズカーニバル



浜寺公園自然の会による
バッタまつり

■りんくう公園

りんくうタウン及び関西国際空港、地域の賑わいの創出と活性化を目的とした「りんくう・関空にぎわいづくり協議会」に参画し、「りんくうリレーマラソン2017」を企画した（雨天中止）。

りんくうタウンの更なる発展を目的とした「りんくうタウンにぎわいづくり研究会」に参画し、「りんくうスポーツフェス」（11月3日、500名）を開催した。

スポーツイベント「第5回スポーツフェスタ泉佐野」（10月9日）に参加し、スロージョギングなど軽負荷運動プログラムによりイベントに協力するとともに、りんくう公園をPRした。



りんくうスポーツフェス

■蜻蛉池公園

蜻蛉池公園を核に、地域と人々をつなぎ、活動を広げるため、「蜻蛉池公園管理運営協議会」を継続運営し、春、秋の「ローズフェア」をはじめ、「KISHIWADA ウォータフェス 2017」などのイベントにつなげた。

最盛期のバラが楽しめる「春のローズフェア」（5月20日～5月21日、7,300名）では、フラワーアレンジメント教室やガーデンコンサートのほか、地元食材を活用した「とんぼマルシェ」など、公園や地域の魅力発信に努めた。

「第11回あじさいフェア」（6月11日、3,800名）では、「あじさいの青空挿木教室」や桃山学院大学茶道部による「呈茶コーナー」を実施、いずれもすぐに定員に達するほどの好評だった。

野原の広場売店跡を「とんぼハウス」として活用、イベント時には「にぎわいづくり拠点」として、イベント時以外は、無料休憩所として、利用者のサービス向上につなげた。



春のローズフェア



あじさいフェア

■せんなん里海公園

地域で活動する自然環境保全グループや公園で活動するボランティア団体など、各種団体と連携し、せんなん里海公園の自然環境と音楽を融合させた環境イベント「せんなん里海さくらフェス」（9月3日、5,000名）や「新春里海まつり寒稽古フェスタ“海に吼える！”」（1月13日、3,900名）を開催した。

ボランティア団体「うみべの森を育てる会」と協働し、海岸段丘部の自然海岸林の保全、ササユリや陸ガニ等の希少動植物の生育・生息環境を整えるとともに、「ササユリまつり（参加者545名）」、「ウミホタルウォッチング（参加者59名）」などの豊かな自然環境を活用した環境学習プログラムを実施し、多様な自然環境にふれあえる機会を提供した。



さくらフェス



親子しぜん体験会

② ボランティア活動支援事業

高齢者等の公園利用のサポートを行う「ヒーリングガーデナークラブ」、浜寺公園ばら庭園のガイドを行う「ばら庭園案内倶楽部」、服部緑地都市緑化植物園の園内ガイドを行う「この指たかれ」をはじめ、府営公園で継続的に活動するボランティアグループ約 48 団体に対し、その活動への支援・協力を行った。また、各公園において、ボランティア連絡会議の開催や公園ホームページ等での活動紹介などを通じて、ボランティアグループが互いに連携・協力しやすい環境づくりに継続して取り組んだ。このほか、民間企業の清掃活動等の社会貢献活動を積極的に受け入れるなど、公園管理への参画機会の拡大に努めた。

(2) 広報強化推進事業

各公園ウェブサイトにおいて、公園の見頃情報やイベント情報をはじめ、各公園のきめ細やかな情報発信に努めた。

ホームページのお問い合わせフォームやアンケートフォームを通じて、府民や利用者から、公園管理をはじめ当協会が取り組む事業に対する評価や意見、提案、要望、質問などの聴取に努めた（お問い合わせ 138 件（平成 28 年度 162 件）、アンケート 51 件（平成 28 年度 51 件））。お問い合わせフォームを通じて寄せられた意見等に対しては、すべて速やかに回答するとともに、実際の公園管理への反映・改善に努めた。

公園毎に公式のツイッターやフェイスブックページを通じて、SNS の特徴を活かした利用者目線のタイムリーな情報発信に努めた。多くのユーザーからフォローや「いいね」をいただくことができ、発信した情報をさらに広く拡散させることができた。（公式ツイッター：浜寺公園、服部緑地を含む 10 公園とパーキ君、公式フェイスブックページ：山田池公園、蜻蛉池公園を含む全 11 公園）



パーキ君ツイッター



山田池公園フェイスブック

(3) 人材育成事業

今後の公園管理を考えるにあたり、国内のみならず国外の情報を得るための「海外研修」や、公園管理運営実務に関係するメンバーが集まり、公園管理運営に関する情報提供、意見交換等を行う「公園管理運営フォーラム」への出席をはじめ、各種研修を実施し、従業員のスキル向上や意識啓発を図った。

ア) 一般財団法人経済調査会主催「公園・緑地の維持管理と積算講習会」への参加

新梅田研修センター、5 月 23 日（火）

イ) 「国際都市公園会議（Greater & Greener2017）」への参加

ミネアポリス、セントポール両市（アメリカ合衆国ミネソタ州）

7 月 30 日から 8 月 9 日まで（別途視察含む）

ウ) 公園管理運営士会関西支部主催「都市公園法並びに関係法の改正に関する研修会」への参加

大阪歴史博物館、8 月 28 日（月）

エ) ソウルグリーントラストとの交流研修実施

服部緑地、8月31日(木)

オ) 一般財団法人公園財団主催「第15回 公園管理運営フォーラム」への参加

国立オリンピック記念青少年総合センター、9月30日(土)

カ) 人権研修実施

大泉緑地 講習会室 2月6日(火)、2月13日(火)

(4) 協会PR強化事業

平成27年度の「協会理念」の制定、平成28年度の対外的なアナログ営業ツール冊子「OPA」の作成に続き、平成29年度より多くの方に当協会を知っていただくこと、新たな事業連携の可能性を示唆することを目的とし、当協会ホームページのリニューアルを行った。

また、府営公園のPR及び公園緑地に対する愛護精神の普及啓発を目的として、当協会マスコットキャラクターの「パーキィ君」のイラストを使用したオリジナルグッズを製作し、イベント開催時などを通じて、多くの来園者に配布した。

配布グッズ(7種類)

トートバッグ、ポケットティッシュ、メモ帳、絆創膏セット、
ポケットごみ袋、風船、缶バッジ



リニューアルした
公園協会ホームページ